

HIDALIVIO

取扱説明書

この度は、本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
本製品の機能を十分に活用して頂く為に、この説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。この取扱説明書は必ず大切にお手元に保管して下さい。

【取り付けの前に】…必ず簡易接続し点灯確認を行って下さい。(バーナーの点灯確認参照)

本製品は、車種により取り付けスペースや車両側の電気的な特性で装着出来ない場合があります。車検対応品として製造しておりますが、通常のハロゲンバルブと異なる発光色に見えるため、検査官によってはごく稀に不適合と判断される場合がございます(注1)。又、一部車両のヘッドランプと組み合わせる場合、光度が基準値に満たない場合や光軸調整等が正常に行えない場合は車検不適合と判断される場合がございます(注2)。この場合は本製品の取り付け及びご使用はしないで下さい。これに関わること請求は一切お受け出来ませんので予めご了承下さい。(注1) 道路運送車両法の保安基準改正により前照灯の灯色が「白色及び淡黄色」から「白のみ」に改定となりました。(注2) 自動車検査独立行政法人審査事務規定の改正により、すれ違い前照灯(ロービーム)の明るさが6400cd以上である事が義務付けられました。車両ヘッドライトレンズの曇りや変色の状態によっては基準値を満たさない場合があります。

- 本製品は自動車用ヘッドライト専用です。
- ハイビームには取り付けをしないで下さい。(H4タイプを除く)
- フォグランプへの装着などの責任は一切負いかねますのでご了承下さい。
- バルブ切れ等の警告灯が点灯する場合は取り付けをしないで下さい。
- H4タイプ取り付け時、ハイビームインジケータランプが点灯しない場合は「ハイビームインジケータリレー」(別売)が必要です。
- 減光システム装着車にはお取り付け出来ません。
- 車両によって一部穴開けなどの加工を必要とする場合があります。
- 誤ったご使用による事故などの責任は一切負いかねますのでご了承下さい。
- 適合表に記載されている車種以外は保証の対象外になります。
- 取り外したハロゲンバルブは取扱説明書及び別紙保証書と共に大切に保管して下さい。
- 取り付けの際の破損に関しては、保証の対象外となります。

安全上のご注意

ご使用前にこの安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
この取扱説明書には、製品を安全にお使い頂き、人的及び物的な危害や損害を未然に防止するために、色々な注意事項を表示しております。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守り下さい。
その表示の内容は次のようになっております。内容をよく理解してから、本文をお読み下さい。

- 以下の注意文を無視し、使用を続けると火災・感電・故障の原因となります。
- 指定以外の電圧では使用しないで下さい。この機器はDC12V・マイナスアース専用です。
 - 電源ハーネスを傷つけないで下さい。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや加熱加工など加えないようご注意ください。
 - 本製品を取り付ける際、電源の極性(+)を間違えないよう注意して下さい。
 - 本製品を取り付ける際、電源側(+12V)のハーネスが車体の金属部分に触れないようご注意ください。
 - 本製品を分解したり改造したりしないで下さい。
 - 本製品に水が入らないようにして下さい。万が一水が入った場合は、電源を抜いてからお買い上げの販売店にご連絡下さい。
 - 理が出る、変な臭いや音が出る場合、機器の使用を中止し直ちに電源を抜いて安全を確かめてから修理をご依頼下さい。
 - 本製品の取り付け、配線、使用方法を間違えると車両の装置、機器類を破損又は損傷する恐れがあります。

取り付け上のご注意

取り付け作業を安全かつ確実に行う為、必ずこの注意事項をお守り下さい。
作業をはじめる前に必ず下記事項を確認し十分に理解をした上で、正しい取り付けを行って下さい。
又、作業時にハーネスを切断したり製品を加工されると保証の対象外となりますのでご注意ください。

- 以下の注意文を無視し、使用を続けると誤作動・故障・事故の原因となります。
- 車両部品を取り外して作業を行う場合は、その車両の整備解説書を参照して下さい。取り付けの際には必ずサーキットテスターを使用し、検電器は使用しないで下さい。
 - 車両のバッテリーが弱っている状態及び、車両本来の機能に不備がある場合には本製品を取り付け又は使用しないで下さい。
 - 車両ごとの取り付け資料・情報に関するサポートは行っておりませんのでご了承下さい。
 - 本製品の取り付けには、取り付け技術のある販売店で行って下さい。
 - 本製品の取り付けは必ずIG OFF(エンジンが起動しない状態)、ヘッドランプを消した状態で行って下さい。
 - 運転の差し支えになるような配線は行わないで下さい。
 - 配線後は必ず絶縁処理を行って下さい。
 - 本製品を取り付ける際は、他の機器に影響を与えない場所、運転に差し支えない場所及びエンジン等に巻き込まない様に行って下さい。
 - 車両構造上一部車種で取り付けができない場合があります。
 - 外国車へのサポートは行っていません。
 - ショート事故防止の為、必ずバッテリーのマイナス端子を外して作業を行って下さい。
 - ハーネスは強く引っ張らないで下さい。コネクタ外れや断線の原因になります。
 - ハーネスは結束バンドやビニールテープ等で固定し、結束バンドの余り部分は切断して下さい。
 - コネクタの取り外しはハーネスを引っ張らず必ずコネクタ本体を持って外して下さい。
 - バッテリーのマイナス端子を接続する前に、もう一度取り付けや配線に誤りがないか確認して下さい。
 - 取り付け穴を開ける時は、必ず裏側に何も無い事を確認して下さい。
 - コネクタやターミナル端子は確実に接続して下さい。
 - 作動確認を行う時、車両のランプ等の電装部品が正常に作動するか確認して下さい。
 - 瞬間的に約20,000Vの高電圧が発生し大変危険ですので取り扱いには充分注意して下さい。

使用上のご注意

- 本製品装着後は必ず光軸調整を行って下さい。
- エンジンを始動していない状態で長時間点灯させないで下さい。バッテリー上がりを起こす可能性があります。
- ハイビーム・ロービームの切り替え及びワッシングを連続して行わないで下さい。
- 坂道等で駐車時、対向車への眩惑となる場合は消灯して下さい。
- ヘッドランプを点灯したままや消灯直後の洗車はおやめ下さい。又、洗車の際はイグナイターやバラスト等に直接水がかからない様にして下さい。
- ヘッドランプ点灯時にラジオ等にノイズが入る事があります。
- 車両のバッテリー電圧が低下した場合、正常に点灯しない場合がありますが異常ではありません。

バーナーの点灯確認

- 1.正式に配線をする前に必ず、バーナー、バラスト等を簡易接続し点灯の確認をして下さい。
- 2.この時にあらかじめ配線の取り回しが出来るかを必ず確認しておいて下さい。
※点灯しない場合はトラブルシューティングに従って確認の上お買い上げの販売店にご相談下さい。

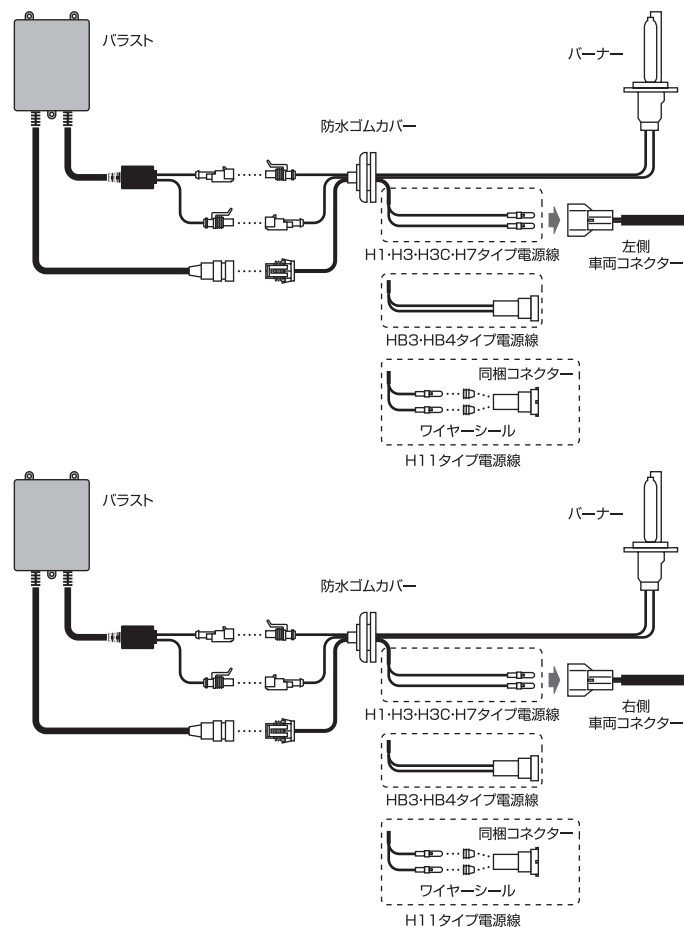
別売りオプションについて

- 点灯が不安定な場合、「電源取り出しハーネス」が必要です。(H4タイプを除く)
- H4タイプの車種でメーカーパネル内のハイビームインジケータランプが点灯しない場合は「ハイビームインジケータリレー」が必要です。
- H1、H7タイプは車種により「アダプター」が必要です。

H1・H3・H3C・HB3・HB4・H7・H11タイプ取り付け概要図

内容物の不足やバーナーの破損等がないかご確認下さい。万一不備がある場合、お買い上げの販売店までお申し付け下さい。

同梱内容					
バーナー	× 2	ナット(小)	× 4	保証書	× 1
バラスト	× 2	ワッシャー	× 2	ワイヤーシール(H11タイプのみ)	× 4
固定ネジ(大)	× 2	固定ステー	× 2	コネクタ(H11タイプのみ)	× 2
固定ネジ(小)	× 4	両面テープ(大)	× 2		
ナット(大)	× 2	取扱説明書	× 1		

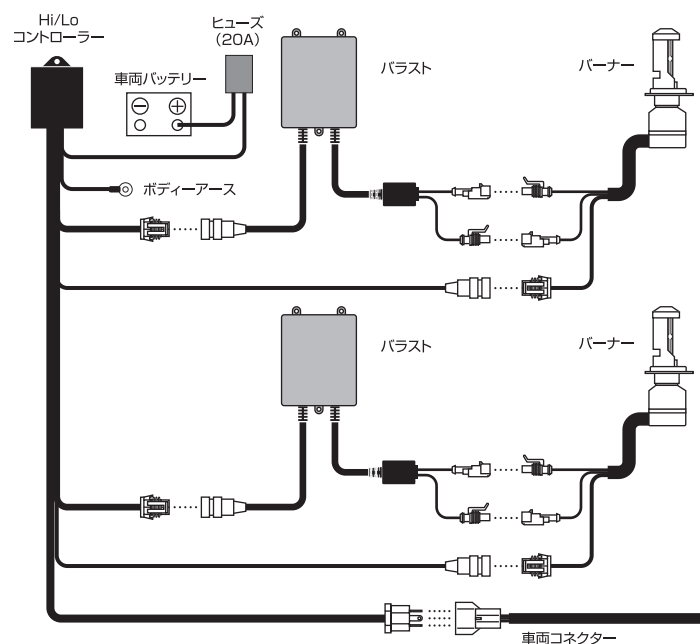


※バラスト及びバーナーに左右の指定はありません。

H4タイプの取り付け概要図

内容物の不足やバーナーの破損等がないかご確認下さい。万一不備がある場合、お買い上げの販売店までお申し付け下さい。

同梱内容					
バーナー	× 2	ナット(小)	× 2	両面テープ(小)	× 1
バラスト	× 2	ナット(大)	× 4	取扱説明書	× 1
Hi/Loコントローラー	× 1	ワッシャー	× 2	保証書	× 1
固定ネジ(大)	× 2	固定ステー	× 2		
固定ネジ(小)	× 4	両面テープ(大)	× 2		



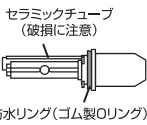
※車両コネクタへの接続は左右どちらか一方のコネクタになります。接続しない方のコネクタは水や埃等が侵入しない様に必ずビニールテープ等で保護処理を行って下さい。
(「ハイビームインジケータリレー」(別売)取り付け時を除く)

パーナーの取り付け

下記図を参考にタイプ別に作業を行って下さい。

注意事項

- ハロゲンバルブ及びパーナーが冷めている事を確認の上、作業を行って下さい。
- パーナーのガラス部を手で触れないで下さい。油分や傷が付くと球切れの原因となります。油分が付いた場合は、アルコールを柔らかい布等に含ませ速やかにふき取って下さい。
- HIDパーナーの取り付け時、セラミックチューブの破損に気をつけて下さい。セラミックチューブを破損しますと保証の対象外となります。
- 防水リング(ゴム製Oリング)がずれている場合は正位置に戻して下さい。
- ヘッドランプ(LOビーム)用のヒューズが15A以上のものが使用されているか確認を行って下さい。点灯時にヒューズが切れてしまう事がありますので15A以上のヒューズに交換して下さい。
- 車両によってはヘッドライトASSYを取り外す場合がありますので整備解説書等を参照して下さい。
- 取り付け作業は、左右同様に行ってください。
- 取り外したハロゲンバルブは、緊急対応用として車内に保管しておいて下さい。



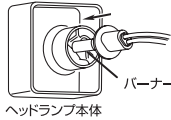
【H1・H3・H3C・HB3・HB4・H7・H11タイプ取り付け】

①ハロゲンバルブを取り外し、パーナーを取り付ける。

ハロゲンバルブを取り外し、取り外した逆の順番でパーナーを取り付けます。

【確認】

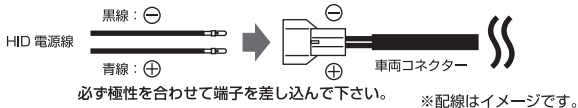
ヘッドライト内部とパーナーが干渉していない事を確認して下さい。



②電源線の接続

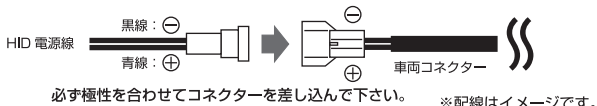
H1・H3・H3C・H7タイプ

車両コネクターのプラス側・マイナス側をサーキットテスターで確認します。電源線の青線を車両コネクターのプラス側、黒線をマイナス側になる様に差し込みます。差し込み後は必ずビニールテープ等で絶縁処理を行って下さい。反対側も同様に接続を行って下さい。



HB3・HB4タイプ

車両コネクターのプラス側・マイナス側をサーキットテスターで確認します。電源線の青線が車両コネクターのプラス側になる様にコネクタを接続します。反対側も同様に接続を行って下さい。

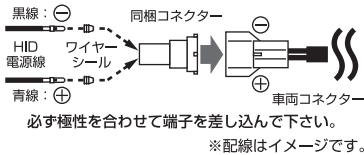


H11タイプ

車両コネクターのプラス側・マイナス側をサーキットテスターで確認します。

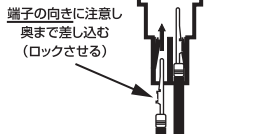
電源線に付属のワイヤーシールを通し青線を車両コネクターのプラス側、黒線をマイナス側になる様に同梱のコネクタに差し込みます。(コネクタとワイヤーシールの向きに注意して下さい。)

差し込み後は車両コネクタに接続します。反対側も同様に接続を行って下さい。



コネクタ端子挿入方法

下記図を参照し間違えない様に奥まで差し込んで下さい。



端子を差し間違えた場合は…

- ①端子とロック部分の隙間にピン抜き等を差し込む
- ②ロック部分を付け根に寄せながら端子を引き抜く

※端子を引き抜く際は線を無理に引っ張らないで下さい。

【H4タイプ取り付け】

(注意) パーナーのベース部分は鋭利になっております。取り付けの際は怪我をしない様、十分にご注意下さい。

①ハロゲンバルブを取り外し、パーナーを取り付ける。

- 1.純正シェード付車両は下記図の様にHIDフードを外して下さい。
- 2.純正防水ゴムキャップを外しバルブを外した逆の順番でベース部分(パーナー部分は取り外しておく)を取り付けます。
- 3.純正防水ゴムキャップを取り付けます。



4.パーナーを差し込み右に回しロックします。奥まで差し込み確実にベース部にロックして下さい。

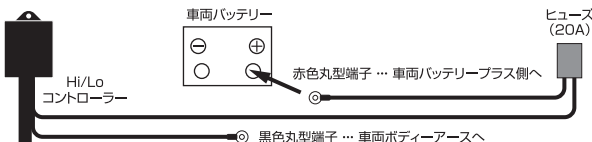


【確認】

ヘッドライト内部とパーナーが干渉していない事を確認して下さい。

②Hi/Loコントローラーの接続

- 1.同梱されているHi/Loコントローラーの赤色丸型端子(20Aヒューズ付き)を車両バッテリーのプラス側に、黒色丸型端子を車両ボディアース(塗装されていない金属部分のボルト)に接続します。



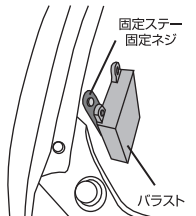
2,3極コネクタを車両コネクタの左右どちらか一方に接続します。接続しない方のコネクタは水や埃等が浸入しない様に必ずビニールテープ等で保護処理を行って下さい。(「ハイビームインジケータリレー」(別売)取り付け時を除く)

バラストの取り付け

バラストの固定

パーナーと配線が届く範囲で取り付け位置を設定し、同梱の固定ステーや固定ネジを使用し固定して下さい。高温になりやすい部分や水がかかりやすい部分は避けて下さい。

(取り付け例)



Hi/Loコントローラーとバラストのコネクター接続(H4タイプのみ)

Hi/Loコントローラーとバラストのコネクターを接続します。コネクターの向きを差し間違えたり異なったコネクターを無理に差し込まないで下さい。

パーナーとバラストのコネクター接続

パーナーとバラストのコネクターを接続します。コネクターの向きを差し間違えたり異なったコネクターを無理に差し込まないで下さい。

パーナー点灯の確認

全ての作業が終了したらパーナーの点灯確認をして下さい。ヘッドライトスイッチをONにするとパーナーが点灯します。点灯しない場合は、下記トラブルシューティングのフローチャートに従い確認して下さい。

この様な場合は故障ではありません

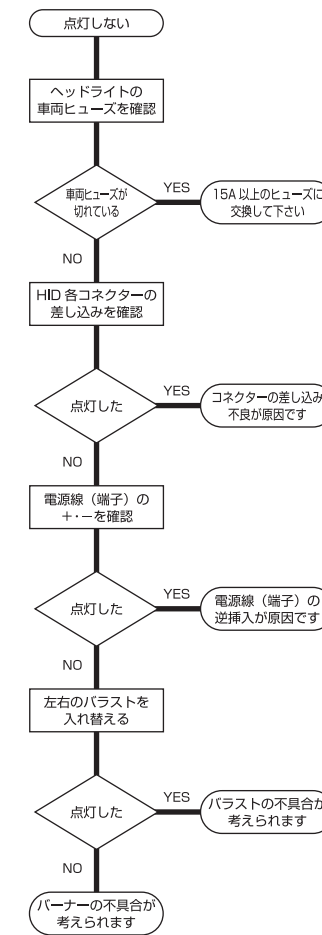
- 点灯後にパーナーの発光色が変化する…
パーナーの特性上点灯直後は発光色が変化します。
※しばらくすると発光色は安定します。
- 左右の発光色が違う…
製品の特性上多少の差が出る場合があります。
※明らかに発光色が違う場合はお買い上げの販売店にご相談下さい。
- 点灯時バラストから音がする…
電圧を制御している音ですので異常ではありません。
- メーターパネル内のハイビームインジケータランプが点灯しない…
H4タイプの車種でメーターパネル内のハイビームインジケータランプが点灯しない場合は「ハイビームインジケータリレー」が必要ですので別途お買い求め下さい。
- 光軸がずれていないか…
バルブの脱着時には光軸がずれる事がありますので本製品の取り付け後は必ず光軸調整を行って下さい。

上記以外のご質問がございましたら、お買い上げの販売店にご連絡下さい。

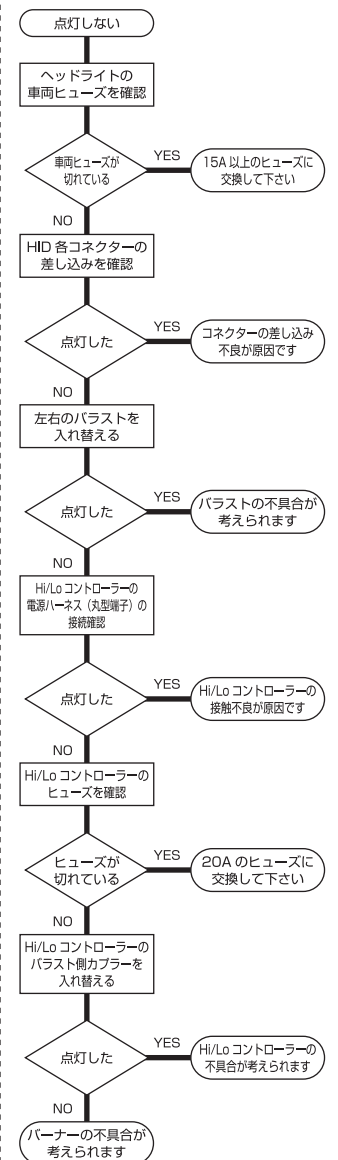
トラブルシューティング

点灯しない場合は下記フローチャートに従い確認して下さい。

H1・H3・H3C・HB3・HB4・H7・H11タイプ



H4タイプ



製品の不具合が考えられる場合及び上記以外の症状が発生している場合はお手数ですがお買い上げの販売店までご連絡下さい。

保証規定

- 保証期間内に説明書に従った正常な使用状態で、万一故障が生じた場合は無償で修理又は交換致します。
- 保証期間内であっても、次の様な場合は有償修理となります。
 - 保証書のご提示が無い場合。
 - 所定事項の未記入及び販売店名の記入、又は捺印が無い場合。
 - 購入日の未記入、又は字句を書き換えられた場合。
 - 製品取扱上の誤り及び使用方法の誤りによる破損、損傷に起因する故障。
 - 誤配線、誤接続等の不注意による破損、損傷に起因する故障。
 - 火災、その他天災地変により生じた破損、損傷に起因する故障。
 - 不当な修理及び改造に起因する故障。
 - 人為的な過失、又は事故により生じた破損、損傷に起因する故障。
 - 故障の原因が本製品以外にある場合。
 - 譲渡品の場合。
 - 消耗部品の交換(付属部品等)。
 - その他上記項目に準ずる場合、及び弊社が保証不可能と判断した場合。
- 保証期間終了後は有償修理となります。
- 保証書のご提示があっても修理、点検時の代替、交換は致しかねます。
- 以下の様な場合は一切の保証を致しかねます。
 - ①本製品が原因で生じた付随的損害や傷害。
 - ②本製品の修理、点検、交換時に発生する工賃。
 - ③故障、修理や交換等により車両が使用出来なかった事による損害。(電話代・レンタカー代・レッカー代・宿泊代・交通費等)
- 保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。
- 保証規定は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

アフターサービス

- 修理や点検を依頼される場合は、保証書の全ての項目にご記入の上、故障の内容をお買い上げの販売店にご相談ください。
(故障の原因をいち早く特定する為、どの様な症状なのか、いつ頃から等出来るだけ具体的に詳しくお知らせください。)
- 製造・販売が終了した製品については、修理をお受け出来ない場合がありますので予めご了承ください。
- 修理サービスや商品についてのご相談は、お買い上げの販売店にご相談ください。

※本製品の保証期間はご購入日からの起算になります。本製品の一部又は全てを交換された場合、保証期間は交換日からの起算にはなりませんので予めご了承ください。
また、購入日記載の書類(レシート、納品書、販売店からの発送メール等)がある場合は保証対象となります。

販売元

フジ電機工業株式会社

本社 〒534-0025 大阪市都島区片町1丁目6番16号
TEL 06-6358-4409(代) FAX 06-6358-1880
サービスセンター 〒669-4132 兵庫県丹波市春日町野村530
TEL 0795-74-2177 FAX 0795-74-2187



Bullcon®

<https://www.fuji-denki.co.jp>